



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 小 林 正 啓
幹 事 金 山 信 利 会 報 委 員 長 元 氏 成 保



Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度国際ロータリー会長 シェカール・メータ

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2524

2022-3-11

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会) 3月11日(第2例会ハイブリッド)

- 場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間
- ガバナー補佐訪問
- 卓話 「新米弁護士の徒然草」
今月18日で弁護士2年目を迎えますが、1年間の弁護士生活を漫談風にお話したいと思います。

岩永建保会員

- 次年度理事会(ハイブリッド) 11:30~

次週のお知らせ) 3月18日(第3例会ハイブリッド)

- 場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 三笠の間
- 卓話 「公証役場の使い方」

岡 俊介会員

次々週のお知らせ) 3月25日(第4例会ハイブリッド)

- 場所 シェラトン都ホテル大阪
- 卓話 「EDの概念と治療薬について」

青野縣一会員

先週の記録) 3月4日(第1例会ハイブリッド)

●出席報告

出席会員30名(内免除会員5名)

会員総数46名(同上13名)

ゲスト 0名

ビジター 0名

計30名

ホームクラブ出席率78.94%

2月18日(第3例会)補正出席率100%(MU8名)

◆ 会長の時間 ◆



ウクライナ情勢が緊迫の度を増しています。同国にあるロータリークラブの一つであるKyiv Multinational Rotary Clubは、日本時間の本日午前2時にFacebookを更新し、

同会会長が米国フロリダ州デランドのロータリークラブのオンラインミーティングに参加したと記しました。これを聞いたKenneth Goldberg氏は、「彼女(会長)は郊外の地下室から、ロシア軍に抵抗するウクライナ市民の現状を報告し、連帯を求めた。私は信じがたいほど感動した」とコメントしています。ウクライナ・ロータリアンの矜持を見た思いがしました。

話は変わりますが、東大阪みどりロータリークラブより、「邦文定款第4条への疑問」と題する小冊子の送付を受けましたので回覧します。この冊子は、ロータリーの定款がその原典である英語を正確に翻訳していないと指摘し、なかならず、“serve”を「奉仕」と翻訳するのは間違いだと主張しています。全体として分かりにくいなど、批判のしどころが多い冊子ではありますが、ロータリークラブの根幹に関わる概念について果敢に異議を述べる姿勢は評価すべきと考えます。

◆ 幹事報告 ◆



○2022年3月のロータリーレートは1ドル116円です。

○地区よりローターアクトスポンサークラブ宛に「2024-25年度 地区年次大会ホストクラブ立候補募集の案内」が届きましたので濱田委員長、RAC担当の石濱副委員長に回付しました。

○ロータリー囲碁同好会の全国大会の案内が届いています。5月14日(土)に、東京・市ヶ谷の日本棋院本院で2年半ぶりに囲碁好きのロータリアンを集めて行われます。大会参加はメイクアップになります。参加される会員はお申し出ください。

○ロータリーの友3月号に次年度より値上げをする旨の書面が添付されております。当地区からは吉川ガバナーが友事務所の社員として在籍しており、大阪RCの廣瀬会員が代表委員として友委員会に出向されておりますが、どちらにも事前の連絡はなく、今回のお知らせ書面がいきなり届いたため、大変困惑しております。

当地区としては、何の説明もない値上げについては承諾しかねるという立場でおります。

PDGの皆様にもご意見をお伺いしたうえで、添付の質問書を友事務所宛に送付しておりますので、お目通し頂ければ幸いです。書面を回覧いたします。

◆ 委員会報告 ◆



直前会長 村上泰啓

大阪帝塚山ロータリークラブから同クラブ創立60周年記念誌が届いていますので回覧いたします。「当クラブが創立60周年を迎え、当初ご関係者を多数お迎えし記念式典・祝賀会を催す計画をいたしました。新型コロナウイルス感染禍により度々の延期後、年度末ぎりぎりに限られた関係者のみで記念式典・祝賀会を開催することが出来ました。ここに至るまで長きに渡り、当クラブの活動をお支え下さいましたご関係各方面の方々に、厚く感謝申し上げます」とのことでした。WEB参加の皆様方には受付のテーブルに置いておきますのでご参照ください。

◆2018-19年度 米山奨学生 テチアナ・セゾネンコさん◆
近況報告

ウクライナ出身のテチアナ・セゾネンコさんは大阪城南RCで17-18年度、18-19年度の2年の奨学期間を終えた米山奨学生です。先週2月25日(金)早朝、彼女に安否確認をした時の返信メール(原文のまま)をご紹介します。

『こんにちは、今自分がどのようになっているかわかりません。爆発でまた目が覚めました。すでに多くの市民が亡くなりました。モルドバ(ロシアはこの国の一部を占領している)、ペラルーシ、ロシア、クリミアからの戦争の危険があります。それはとてもクレイジーです。今、私は大丈夫です、私の家族も。私たちのニュースはポジティブではない。それは私がいくらかのストレスにさらされていることを意味します。とにかく国が私たちを守ってくれることを願っています。落ち着きを保ちます。安全を祈っています。私は大丈夫です。よろしく願います。』

テチアナさんは無事にされているとの事ですが、米山に携わったものとして、大阪城南RCから巣立った奨学生に何かできることは無いかと考えますが民間から物資を送る、支援金を送ることは戦時下ではどうすることもできません。

今、出来ることはテチアナさんが無事であることを祈るしかできません。一日も早く戦争が終結しウクライナの復興が始まる時に、改めて支援を考え行動に移すことができると思います。その時には、大阪城南RCの会員皆さんが復興の一助になって頂きますようお願い申し上げます。

- 2013-14年度 米山奨学委員会 委員長 西谷雅之
- 2018-19年度 米山奨学委員会 委員長 岡部倫正
- 2018-21年度 米山奨学委員会 委員 金山信利
- 2020-22年度 米山奨学委員会 委員 松田振興

卓話

3月4日〈第1例会ハイブリッド〉

「職場のセクハラ・パワハラ」

遠田義大会員



1.セクハラ・パワハラは会社などの職場で起こるトラブルの一つです。特にセクハラは職場以外の懇親会でも発生しますので注意しましょう。自分では冗談や教育的指導のつもりでも相手にとって迷惑や不快な言動に当たることもあります。昔なら許されていた

ことでも今ではハラスメント行為に認定されることもありますので注意しましょう。

2.職場でのセクハラやパワハラは被害者自身の心身を蝕み、精神疾患の原因ともなります。最悪の場合は自殺に至ることもあります。また、ハラスメント行為は職場の環境を悪化させ士気の低下の原因ともなります。

3.セクハラやパワハラが起きると当然ですが社員は辞めていき貴重な人材を失う原因となります。のみならず、会社にも被害者から法的な民事賠償責任追及を受けることがあります。例えば使用者責任がその典型です。これは外形的に職場で起きたものと認定されればたとえ懇親会の席上で起きたことでも賠償責任の対象となります。他にも雇用主である会社は職場環境を安全なものに整える安全配慮義務を負います。近年では会社の法令順守も厳しく求められますので、いい加減な対応をしていれば被害者から安全配慮義務違反を追及されることもあります。

4.このようリスクを冒さないようにするため、会社は予防策を講じておかなければなりません。まず、就業規則にセクハラやパワハラ処罰規定を設けることです。また、会社のホームページや社内報などでセクハラやパワハラに当たる行為を指摘し社員に注意喚起をすることも重要です。また社内研修を定期的に行うことも必要です。

5.これらに加えて相談窓口の設置も重要です。被害者からの相談を受けた場合には事情聴取を慎重に行う他に被害者自身のプライバシーに配慮する必要があります。特に秘密厳守は重要です。

事情聴取の結果、ハラスメントが確認できた場合は①加害者に配置転換などの懲戒処分を科す。②被害者への心身のケア③労災の認定などが必要ですが、会社レベルでの対応が困難と思われる場合には、弁護士など専門家に相談してください。

にこにこ箱

3月4日(第1例会ハイブリッド)

- お世話になってやっと10回連続達成できました。
勝島会員
- いつもリモートの準備に来ていたら20回出席となりました。
細川会員
- 三宅さん、濱田さん、石濱さん、急な誘いにもかかわらず参加して頂きありがとうございました。
金山会員
- 他、お祝い等 8件

(編集担当 佐伯・恒元)